

1 策定の趣旨

交通体系整備、人口減少や長寿命化、技術革新等の環境変化を展望し、県民主役の未来を切り拓くため、将来像を共有する長期ビジョンを策定

【策定コンセプト】 みんなで描こう「福井の未来地図」
 ～次世代のために、今わたしたちができること～

- ・策定プロセスに多くの県民が参加し、将来構想を策定
- ・策定後は県民一人ひとりがプレイヤーとなり実現に向けて行動

2 期間 2040年頃を展望（実行プランは5年間（2020～2024）の計画）

3 福井県の現状と課題

< 意見交換会等における主な意見 >

○自然や食が豊か

緑豊かな田園風景、海と山の近さ、きれいな星、おいしい米・野菜・魚・水・酒など、自然の恵みを評価する意見が多い。
 一方、そうした良さを当たり前ものと考えその価値に十分気づいていない、控えめな県民性のためか発信する力が弱いとする意見あり。

○家族や地域のつながりが維持

高い三世代同居・近居率、関係の深いコミュニティ、地域内での世代を超えた協力など、人のつながりを評価する意見が多い。
 一方、核家族化の進行や集落の高齢化・過疎化への懸念のほか、つながりの強さが逆に生きづらさや外からの入りにくさにもなっているといった意見あり。

○子育て・教育の環境が充実

育児への祖父母の協力、充実した保育施設、熱心な教員に支えられた質の高い教育など、子育てのしやすさや教育レベルの高さを評価する意見が多い。
 一方、仕事も家事・育児・介護も担う女性の負担が大きい、「結婚・子育て」が当たり前という風潮があり、多様な生き方が認められにくいといった意見あり。

○人材力が高い

勤勉・真面目で穏やかな県民性、教育水準の高さなど、人が資源であるという意見が多い。
 一方、安定志向が強い、教育力が高い反面で県外進学 of 若者が帰ってこないといった意見あり。

○産業・雇用基盤が安定

ものづくり企業の技術力の高さ、伝統工芸や眼鏡・繊維産業の集積、女性や高齢者を含め働く場所が確保されていることなどを評価する意見が多い。
 一方、若者や女性に魅力的な仕事が不足している、都市部に比べて賃金が低く雇用条件が整っていないといった意見あり。

4 福井県を取り巻く世界の潮流

○国際政治の不安定化や通商問題、経済連携の進展、新興国やそれに続く成長国の可能性など、グローバル経済は懸念とチャンスが混在。本県経済への影響を最小限に止め、成長市場を取り込む戦略が重要

○世界の人口増や経済発展に伴い食料需要が拡大する一方、国内および福井県の食料自給率は低下。食料安全保障の観点から、農林水産業の維持・成長は重要課題

○国際的にエネルギー需要増や地球温暖化が課題。県民の安全最優先の原子力政策とともに、再生可能エネルギー導入の推進など、持続可能なエネルギー安全保障への対応が必要

5 2040年までの主な環境変化

資料1-3

これからの20年間に福井県は4つの大きな環境変化を迎える。こうした変化に対応するとともに、新たなチャンスにつなげていく

人口減少 2040年に県内人口は64.7万人、65歳以上人口はピークに

- ・結婚・子育て支援や若者のUターン・地元定着など、人口減少対策の強化
- ・集落コミュニティの機能・活力の維持など、人口減少への適応戦略の強化
- ・リモートワークや多拠点居住、地方兼業など、都市住民を呼び込む新たな働き方・暮らし方の提案・実践 など

長寿命化 「人生100年時代」。高齢者も健康・元気に

- ・学び直しや兼業・副業など、長寿命化時代の新たなライフスタイルへの移行
- ・子どもや若い世代の時から健康づくりを始める新たな学びと実践
- ・元気なシニアを増やし、多様な活躍を促す、新たな高齢者観の提唱 など

大交流化 高速交通体系の整備により、国内外に開かれ、立地条件が格段に向上

- ・時間距離の短縮を活かした、三大都市圏を始めとする全国からの人や企業の呼び込み
- ・人、モノ、情報の往来を増やし、県民の活動や企業の成長を高める好循環の創出
- ・新たな世界市場への進出、販路拡大やインバウンド誘客など、世界の成長を取り込む戦略実行 など

技術革新 AI、IoT、ロボット、自動走行、5Gなどの実用化が拡大

- ・AI、ロボットなどの未来技術を開発・活用できる人材の育成
- ・AI・IoT等を活用した製造業、サービス業、農林水産業等の生産性向上や付加価値の創出
- ・5G等を活用した遠隔医療、自動運転による交通・配送システムなど、暮らしの質や利便性の向上 など

6 福井県の望ましい姿

< 意見交換会等における主な意見 >

○福井の良さが生かされ、文化力がさらに向上した地域

- ・文化は豊かな社会づくりの基盤。多様な文化を掘り起こして発信するなど、文化の力を未来づくりに生かすことが重要
- ・県外の文明と持ち前の温かさを合わせ、「温故知新」を体現する日本のモデルとなるべき
- ・福井ならではの良さを生かしながらも、経済、社会、環境が持続可能な地域を目指すべき
- ・県外の人や外国人が福井の食や温泉に魅力を感じて、人が集まる訪れる社会を目指すべき

○多様性が尊重され、挑戦が後押しされる地域

- ・様々な生き方を試みて良い、いろんな人がいて良いという意識が醸成された社会を目指すべき
- ・多様な質の幸せに寄り添える県になってほしい。特に「女性の幸せ」は新しい時代を切り拓く旗印・道筋となる
- ・自分が何をしたいのか、何ができるのか考える人を増やし、チャレンジしていく社会を構築すべき
- ・人口減少は止められない現実。一人ひとりが活躍し、つながり合える社会を目指すべき

○クリエイティブで魅力ある産業が生まれる地域

- ・若者が戻ってくる魅力的な企業づくり、技術革新と福井の人間性の良さを掛け合わせたビジネスモデルづくりが重要
- ・新しいものや価値を生み出すクリエイティブな力を高めていくべき
- ・AIやITなどのベンチャー企業やユニコーンが生まれやすい環境を作るべき
- ・掘り起こせば光る企業や産地に磨きをかけて成長させ、世界のモノづくりの聖地となるべき

※上記のほか、懇話会、意見交換会等における主な意見は別添

資料1-4

7 福井県の目指す将来像

< 基本的な考え方 >

将来世代が希望が持てる、県民主役の福井の未来を切り拓くため、福井県の現状や課題、環境変化、県民意見等を踏まえたうえで、2040年の目指すべき将来像を県民と共有し、「チーム福井」一丸となって実現を目指す。

< 基本理念について >

○ 土台があるからチャレンジできる。

先人が築き、守り伝えてきた福井の文化力、真面目で温かい人の良さ、安定した産業など、「安心と信頼の社会基盤」をしっかり守ることが重要ではないか。

さらにそうした土台があるからこそ 新たなチャレンジ が可能であり、互いの挑戦を応援し合う活力ある福井を目指すべきではないか。

○ 故郷に自信と誇りを持つことからスタート

県民一人ひとりが、ふるさとへの愛着や誇りを深め、自信をもって福井を語れる姿こそ、目指すべき県民像ではないか。また、誰もが自分らしいライフスタイルを実現 できることが重要ではないか。

○ 誰もがチャレンジ、福井をもっと面白く！

大交流化や技術革新をチャンスと捉え、「福井をもっと面白く」を目標に、新たな価値観や多様な魅力 が加わった、すべての世代がチャレンジできる、ワクワクする未来 を目指すことが、新しい福井の姿ではないか。

○ 「次世代ファースト」を合言葉に

将来像の実現に当たっては、「すべては次世代のために」を合言葉に、誰もが将来世代の幸せを願い、ともに行動することが重要ではないか。

< 基本理念 > 「安心の福井」を未来につなぎ、もっと挑戦！もっと面白く！

長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」の福井を、みんなで守り、次世代に引き継ぐ。さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「面白い！」福井を目指す。

< 目指す姿 >  **SDGs**（誰一人取り残さない。持続可能で多様性と包摂性のある社会）の理念に沿いながら、3つの姿を目指す

自信と誇りの福井

「福井らしさ」を大切に。県民が誇りをもって暮らすことにより、さらに多くの人を呼び込む福井

「福井らしさ」を伸ばし、外に開いて人を呼び込む。

暮らしの積み重ねの中で受け継がれてきた人々の営み、自然風土や歴史性、地域社会のつながり、農林水産業をはじめとする産業力など、すべてが「福井らしさ」であり、「文化力」。こうした資産を守り、価値を高め、「選ばれる福井」を築く。

誰もが主役の福井

すべての人が輝き、互いに支え合い、幸せを実感しながら、将来にわたり安心して暮らせる福井

多様な個性を大事にし、みんなが自分らしく輝く。

人口減少により一人ひとりに期待される役割が広がる中、年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、多様性を認め合い、人生100年時代に誰もが様々なことに挑戦できる「全員参加型」の共生社会を築く。

飛躍する福井

交通体系の進展や技術革新を活かして、産業の新たな可能性を拓く。創造的で活力がある福井

変化をチャンスに、しごととくらしをクリエイト。

交流拡大や新技術により、経済・社会の仕組みが大きく変わる可能性。こうしたチャンスを最大限に活かし、新時代の産業基盤を確固たるものにするとともに、暮らしの質を高め、活力に満ちた地域をつくる。

< 各分野の目指す方向性 > 上記の基本理念・目指す姿を実現するため、次の4分野に分けて具体的な政策を企画・実行

ひとづくり	しごとづくり	まちづくり	安全安心
<p>福井は人が宝。地域を支え、未来を創造する人材の育成</p> <p><u>福井の人材力を最大の武器に。</u>心豊かで個性にあふれ、ふるさとを愛する、福井の次代を担う人材を育成する。また、誰もが様々なことにチャレンジでき、自分らしさを発揮できる、多様性が魅力の社会を目指す。</p>	<p>力強い産業基盤の確立。チャレンジできる地域経済の構築</p> <p><u>新たなことに挑戦し、可能性が広がる地域経済に。</u>新産業育成やクリエイティブな事業創出などにリスクをとりながら挑戦でき、若者が魅力を感じる、活気と好循環の地域経済を目指す。</p>	<p>多彩な魅力で交流拡大。交通新時代の活力の創出</p> <p><u>人が人を呼び込み、交流拡大を地域の力に。</u>深みのある歴史・文化や自然を活かし、多様な魅力・楽しみを創り出し、すべての世代が誇りを持ち、ワクワク・ドキドキする、個性と活力にあふれるまちを目指す。</p>	<p>人生100年時代をリードする「健康文化」の創造。暮らしを守る安全・安心</p> <p><u>人生100年時代を健康・安心に。</u>新たな高齢者観を構築し、子どもからシニアまで生涯健康であることを志向する「健康文化」を育む。また、医療・福祉・防災等を充実させ、安心して暮らせる地域を目指す。</p>
<p>文化・デザイン立県 ～文化とデザインので、福井の魅力を向上～</p>			

※ 4 分野における 5 年間の政策を実行プランに記載。あわせて次期「ふくい創生・人口減少対策戦略」を策定 ※ 今後、地域毎（福井・坂井・奥越・丹南・嶺南）にも戦略・施策を整理

「福井県長期ビジョン」骨子(素案) 第2部 実行プラン

こころ	目指す方向性	概要	5年間(2020~2024年)で実行する主な政策 ※具体的施策は今後整理	
こころ	<p>福井は人が宝。地域を支え、未来を創造する人材の育成</p> <p><u>福井の人材力を最大の武器に。</u>心豊かで個性にあふれ、ふるさとを愛する、福井の次代を担う人材を育成する。また、誰もが様々なことにチャレンジでき、自分らしさを発揮できる、多様性が魅力の社会を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人口減少・高齢化や長寿命化、AI等の技術革新など、社会情勢が大きく変化するなか、福井の未来を拓くには、地域を支え変化に挑戦する人づくりが最も重要 ✓ そのため、福井の高い教育力を土台に、一人ひとりがそれぞれのライフステージにおいて、自ら学び、新たな可能性に挑戦する、創造性豊かな人材を育成 ✓ また、多様な個性や価値観を認め合い、女性や若者、高齢者、障がい者、外国人など、一人ひとりが自分らしさを発揮できる「全員参加型」の共生社会を実現 	<p>1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学力・体力全国トップクラスの高い基礎力をもとに、子ども自身の個性を伸ばす「引き出す教育」や、好奇心や探究心を持って学びを進んで「楽しむ教育」を推進 • 自らの可能性に挑戦し、一人ひとりの個性が輝く福井の子どもを育成 <p>2 福井の産業・社会を支える人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> • 産学官が連携し、福井の産業や自然を生かした教育・研究を推進し若者に魅力的な学びの場を創出 • 人生100年時代のリカレント教育を充実し、生涯活躍し続けるイノベティブな人材を育成 <p>3 多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> • 女性、若者、高齢者など、性別、年齢に関わらず誰もが様々なことに挑戦できる共生社会の実現 • 障がい者、外国人など多様な人材が活躍する「ダイバーシティ地域経営」の推進 <p>4 希望が叶う「結婚・出産・子育て」応援</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日本一の出会い・子育て応援策をレベルアップ • 将来を担う子どもたちを産み育てる若い世代を社会全体で支え応援する仕組みを拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ○個性や主体性を発揮し、自分の可能性に果敢に挑戦する人材の育成 ○多様な存在や価値観を認め合い、協働して課題を解決し、新たな価値を創造する人材の育成 ○郷土を学ぶ教育の推進など、ふるさとを愛する子どもを育成 ○教員の働き方改革や放課後児童クラブの充実など、子どもの成長を社会全体で支える教育環境の整備 など ○次世代リーダーの養成や古生物学の学術拠点など、新たな学部・学科の創設による若者に魅力的な大学づくり ○地域でのフィールドワークや共同研究など産学官連携による地域人材の輩出 ○人生100年時代を支えるリカレント教育の充実 など ○家庭でも職場でもワークシェアを進め、男女が互いに尊重しあう「男女共生社会」の実現 ○若者同士のネットワークを拡大、若者の面白い挑戦を「ちよい足し」応援 ○短時間就労の促進など高齢者の生涯活躍の場の拡大 ○障がい者の就労やスポーツ等の推進、外国人が住みやすい環境の整備 など ○「自然な出会い」の環境づくりなど新たな出会いのサポート ○妊娠・出産前後からの切れ目ない支援体制を構築するなど安心して出産できる環境の整備 ○子育て世帯の負担軽減やシニアによる子育て支援など新たな子育て応援システムの充実 ○保育人材の確保など子育て・保育の受け皿環境の整備 など
こころ	<p>力強い産業基盤の確立。チャレンジできる地域経済の構築</p> <p><u>新たなことに挑戦し、可能性が広がる地域経済に。</u>新産業育成やクリエイティブな事業創出などにリスクをとりながら挑戦でき、若者が魅力を感じる、活気と好循環の地域経済を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 技術革新や産業構造の変化、グローバル化などに対応し、質の高い生活を支える力強い経済基盤を確立させる必要 ✓ そのため、農林水産業やものづくりなど福井の地場産業を、新技術やデザインの力を活用しながら革新し、若者が魅力を感じる持続可能な産業へと発展 ✓ また、航空・宇宙、ヘルスケアなど成長産業や拡大する世界市場への進出、新技術の活用による付加価値創造、新規創業など、県内企業の様々な挑戦を応援し、活気と好循環の地域経済へと飛躍 	<p>5 農林水産業の力で福井をブランドアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 福井の生活・文化を形作ってきた農林水産業を大切に守り次世代に引き継いでいくとともに、その魅力を福井の発信に最大限活用 • 新技術の活用などにより、力強い成長産業にレベルアップ <p>6 地域経済のイノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> • 人を幸せにする働き方改革の推進、地域内経済循環の新たな仕組みづくり、デザインの活用等による地域経済のイノベーション創出 • 新技術の活用による生産性向上や人材確保、事業承継など地域経済の持続的発展を応援 <p>7 Society5.0時代の新産業創出</p> <ul style="list-style-type: none"> • 高いものづくり技術を活かした成長産業への進出や新技術を活かした高付加価値産業への転換 • 創業支援や企業誘致による新たな分野の企業創出 <p>8 拡大する世界市場を福井の成長へ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 成長する地域や分野など世界市場の動向を見極め、県内企業の新たな海外展開に向けた支援を強化 • 「食」や伝統工芸など本物の魅力を海外に売り込むなど、世界市場の拡大を本県に取り込み経済成長につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ○AI、IoT技術を活用したスマート農業の導入、農家所得の最大化 ○「いちほまれ」や「ふくいそば」など福井のおいしい食のトップブランド化 ○直売所や観光農園の整備など農山漁村の魅力の創出、新たな交流の拡大 ○販路開拓等による県産材の需要拡大など林業の活性化 ○養殖生産やスマート漁業の推進などふくいの海のフル活用 など ○幸せと生産性を両立する「しあわせ働き方改革」の実行 ○お金・人・技術の地域内の循環を促す福井型「エコシステム」の仕組みづくり ○デザインの力によるものづくり産地の魅力向上 ○AI、IoT等の新技術の活用による地域企業の生産性向上や外国人材の受入促進等による人材確保 など ○航空・宇宙、ヘルスケア産業など成長産業へのチャレンジ応援 ○AI・IoTなど技術革新を活かした新サービスの創出、高付加価値化 ○創業支援や企業誘致による若者や女性にとって魅力ある企業の創出 ○原子力や再生可能エネルギーなどを活かした嶺南「エネルギー・コースト」の形成 など ○東南アジア等の世界市場の開拓促進、企業支援の海外ネットワークの強化 ○福井の文化や食を活かした海外売り込み ○オリンピックや大阪・関西万博等を活かした発信 など

「福井県長期ビジョン」骨子(素案) 第2部 実行プラン

まちづくり	目指す方向性	概要	5年間(2020~2024年)で実行する主な政策	※具体的施策は今後整理
安全安心	<p>多彩な魅力で交流拡大。交通新時代の活力の創出</p> <p>人が人を呼び込み、交流拡大を地域の力に。深みのある歴史・文化や自然を活かし、多様な魅力・楽しみを創り出し、すべての世代が誇りを持ち、ワクワク・ドキドキする、個性と活力にあふれるまちを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の福井・敦賀開業とその後続く大阪までの全線開業は、100年に一度のチャンス 高速交通網の整備やまちづくりなど交流基盤の整備を進めるとともに、都市圏でのプロモーションや観光地の磨き上げなど福井・敦賀開業に向けた準備を全力で実行 また、「交流」や「関係」をきっかけとした移住・定住を促す仕組みづくり、文化・スポーツを仕掛けとした交流拡大など、楽しく面白い、新時代のまちづくりを推進 	<p>9 100年に一度のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線などの高速交通網の整備にあわせ、新幹線駅周辺のまちづくりや二次交通を整備 県内外との交流を拡大する県境フロンティア政策を推進 <p>10 北陸新幹線開業効果を最大化</p> <ul style="list-style-type: none"> 誘客プロモーションによるふくいブームの創出や観光地の磨き上げ、インバウンド誘客などを集中的に実行し、新幹線開業効果を最大化 <p>11 人が人を呼ぶ、移住・定住新戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援体制を強化するなど「待ち」から「攻め」の移住政策に転換 交流人口の拡大や多様な福井との「関わり」から移住・定住につなげる新たな仕組みを構築 <p>12 文化・スポーツが福井の活力</p> <ul style="list-style-type: none"> 長い歴史・生活が培った文化力や芸術文化への関心の高まり、国体・障スポ等を通して高まったスポーツ熱をまちづくりや交流人口の拡大に活用 デザイン・アートの充実やフェスの開催など若者に魅力あるイベントを拡充し、楽しみに溢れるまちづくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線や中部縦貫自動車道など高速交通網の整備促進 新たな4つの新幹線駅周辺のまちづくりを市町と協働し推進 MaaSや自動走行など新技術を活用した地域交通の充実 関西との近接性を活かした「WAKASAリフレッシュエリア」の形成 港・空港・道路など交流基盤の整備・活用の推進 など 都市圏ごとの戦略的な誘客プロモーションや大型開業記念イベントの開催によるふくいブームの創出 代表的観光地の磨き上げなど、開業に向けた福井ならではの魅力向上 国・地域の特徴に応じた外国人目線のインバウンド誘客 DMOなど地域が一体となった観光推進体制の構築 など 県内企業と県外大学生や都市圏の地方転職希望者との接点の拡大などによるUターン促進 教育機関と産業界が一体となった学生の地元定着促進 リモートワークやワーケーションなど、多様な働き方に対応した関係人口の拡大 拠点の充実や市町協働など移住定住促進体制の強化 など 歴史・文化・伝統工芸などをネットワーク化し、歴史ミュージアムふくいを発信 全国規模のスポーツ大会の開催や県内トップスポーツチームの活躍応援 多彩な楽しみを生み出すデザイン・アートの振興 フェス等の賑わいイベントを充実するなど、「若者・よそ者」が集まるまちづくりの推進 など
	<p>人生100年時代をリードする「健康文化」の創造。暮らしを守る安全・安心</p> <p>人生100年時代を健康・安心に。新たな高齢者観を構築し、子どもからシニアまで生涯健康であることを志向する「健康文化」を育む。また、医療・福祉・防災等を充実させ、安心して暮らせる地域を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化時代に向け、生涯にわたり、健康に安心して暮らせる福井を未来へつなぐ必要 暮らしの中で、世代に応じて健康づくりをし、高齢者観を変える「健康文化」を創造するとともに、医療・福祉の融合を進めるなど、誰もが安心して暮らせる環境を整備 また、地域コミュニティの活力維持や地域防災・防犯対策、県土の強靱化、自然環境の保全・活用、安全最優先の原子力政策など、県民の安全安心を地域全体で確保 	<p>13 人生100年時代の健康ライフスタイル</p> <ul style="list-style-type: none"> シニアの活躍を後押しする新しい高齢者観を提唱し、そのライフステージに応じた健康づくりを進める新たなシステムを構築 誰もが生涯にわたり健康元気を志向する、福井発の「健康文化」を醸成 <p>14 いつでもどこでも安心の医療・福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰もが地域で安心して医療を受けられる環境を整備 医療、介護、予防、生活支援がトータルで提供される「次世代包括ケアシステム」を展開 <p>15 ふるさとの暮らしと風景の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少・高齢化が進む中、新たな技術や有償ボランティアなどの新たな共助の仕組みを活用し、いつまでも安心して暮らすことのできる地域を構築 豊かな自然環境を保全し、自然とともに生きる福井を継承 <p>16 防災先進県ふくいの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 頻発・激甚化する自然災害に対し、県土強靱化の推進や地域防災力の向上により備えを万全 子どもや女性、高齢者などが犯罪等に巻き込まれない安心して暮らせる社会を実現 	<ul style="list-style-type: none"> 若者から高齢者までライフステージに応じた健康づくりの推進 ショッピングや食事など日々の暮らしの中で自然と健康になれる環境づくりの推進 受診率の向上等によるがんや生活習慣病の早期発見・予防 全世代にわたり100歳まで生きる力を学ぶ健康リテラシー教育の推進 など 先端技術を活用した高度医療、ドクタープール制度、ドクターヘリの活用等による地域医療の充実・強化 介護人材の確保による安心介護の実現 8050問題やダブルケアなど様々な課題に対応する包括的な福祉サービスの充実強化 など 有償ボランティアなど新たな共助、5G、自動走行など新技術の活用等による地域コミュニティの活力維持 歴史的まちなみや自然景観など美しい景観の保全形成 豊かな里山里海湖の保全と交流人口拡大への活用 再生可能エネルギーの利用拡大など循環型社会の構築 など 県と市町の連携強化や地域の自助・共助による防災力と新技術の力の融合による災害への対応力の向上 インフラ老朽化対策や治山・治水・雪対策など県土強靱化を推進 子ども、女性、高齢者など県民を守る犯罪・事故対策を強化 県民の安全最優先の原子力政策の実行 など